

# アナログ IP エンコーダ

## 取扱説明書

### HIE-S148P4-L2A



**HYTEC INTER Co., Ltd.**











**第1版**

## 安全上のご注意

この取扱説明書には、「アナログ IP エンコーダ（以下本機）」を安全にお使い頂く為の注意事項が示されています。常に高度な安全を確保するために、以下の点に注意されたうえでご利用頂きますよう、お願い申し上げます。

- 本機の機能を最大限に発揮するために、この取扱説明書をお読みのうえ、基本的な操作を習得してください。
- いざという時の為に、この説明書を分かり易い場所に大切に保管してください。
- 操作などに関して不明な点がございましたら、ハイテクインター株式会社カスタマーサポートまでご質問ご相談ください。
- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がございましたらご連絡ください。

## 安全にご使用頂くために

 <b>警告</b>	<b>改造、分解、修理をしない</b> 火災、感電、漏電、けがの原因となることがあります。 
	<b>水に濡らさない</b> 本機内部モジュールが水に濡れると故障の原因となります。 
	<b>本機内部に異物を入れない</b> 金属や燃えやすいものが内部に入ると、故障、火災、感電の原因となります。 
	<b>電源コードやケーブルを傷つけない</b> 重いものを載せたり、はさんだりするとコードやケーブルが傷つき火災や感電の原因となります。 
	<b>電源コードやケーブルに熱器具を近づけない</b> コードやケーブルの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。 
 <b>注意</b>	<b>お手入れの際は、電源コードやケーブルを抜く</b> 抜かないままお手入れすると、感電の原因となることがあります。 
	<b>異常が発生したら、すぐに使用を中止して連絡する</b> 煙や匂いなどの異常を感じたり、機器故障の場合は、ただちに使用を中止しハイテクインター株式会社カスタマーサポートへご連絡ください。 
	<b>低温で使用する時のご注意</b> 0℃以下でバッテリー運用するときはバッテリー性能が一時的に低下して運用時間が短くなることがあります。 

## お手入れについて

- 日常のお手入れは、やわらかい乾いた布で拭いてください。機器本体の汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布を固く絞ってから拭いてください。酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー、ベンジンは使用しないでください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

## ご使用に際してのご承諾事項

### ■お客様管理について

- お客様の設備（お客様のネットワークおよびパソコンを含むネットワーク上の機器、以下同じ）の保守・管理および設備は、すべてお客様の責任で行っていただきます。
- 本機を利用するにあたって必要なネットワーク環境などについては、お客様の責任とご負担でご用意してください。ネットワーク接続にかかる通信費用はお客様のご負担となります。
- お客様のネットワークやパソコンのセキュリティ対策は、すべてお客様の責任で行っていただきます。
- 第三者の不正使用などにより損害が発生したり、第三者との間でトラブルが発生しても、ハイテクインター株式会社は一切責任を負わないものとします。

### ■本機のご使用について



- お客様の通信環境、ネットワークの使用状況により、映像が途切れたり、表示できない場合があります。

## 著作権について

- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

### ■取扱説明書について

- 本書に記載の内容および仕様などは、予告なく変更することがあります。
- 本書で使用するマークは下記の通りです。

 ご注意	操作するうえで、守って頂きたい内容や注意事項を示します。
 補足	操作・設定の際の補足事項を示します。

## 目次

1.	はじめに .....	6
1-1	製品概要 .....	6
1-2	特徴 .....	6
1-3	監視アプリケーション .....	7
2.	各部の名称と役割 .....	8
2-1	前面 .....	8
2-2	背面 .....	9
3.	ネットワーク接続 .....	10
3-1	LAN .....	10
3-1-1	IP-Tool によるアクセス .....	10
3-1-2	IE (Internet Explorer) による直接アクセス .....	12
3-2	WAN .....	13
3-2-1	ルータまたは仮想サーバを介したアクセス .....	13
3-2-2	PPPoE によるアクセス .....	14
3-2-3	静的 IP によるアクセス .....	15
4.	ライブ画面 .....	16
5.	設定ホーム .....	19
5-1	システム .....	19
5-1-1	基本情報 .....	20
5-1-2	日付と時間 .....	20
5-1-3	ローカル設定 .....	22
5-1-4	ストレージ .....	23
5-2	イメージ .....	28
5-2-1	ディスプレイの設定 .....	28
5-2-2	ビデオ/音声 .....	31
5-2-3	OSD .....	33
5-2-4	ビデオマスク .....	34
5-2-5	ROI 設定 .....	35
5-3	PTZ .....	36
5-3-1	PTZ プロトコル .....	36
5-4	アラーム .....	37
5-4-1	動き検出 .....	37
5-4-2	異常 .....	41
5-4-3	アラームイン .....	44

5-4-4	アラームアウト .....	47
5-4-5	アラームサーバ .....	49
5-5	イベント .....	50
5-5-1	例外 .....	50
5-5-2	ラインクロッシング .....	52
5-5-3	エリア侵入検知 .....	56
5-6	ネットワーク .....	60
5-6-1	TCP/IP .....	60
5-6-2	ポート .....	63
5-6-3	サーバ .....	63
5-6-4	DDNS .....	64
5-6-5	SNMP .....	66
5-6-6	802.1X .....	69
5-6-7	RTSP .....	70
5-6-8	UPnP .....	71
5-6-9	Email .....	72
5-6-10	FTP .....	74
5-6-11	HTTPS .....	76
5-6-12	QoS (Quality of Service) .....	78
5-7	セキュリティ .....	79
5-7-1	ユーザ .....	79
5-7-2	オンラインユーザ .....	80
5-7-3	ブロックと許可リスト .....	81
5-7-4	安全管理 .....	81
5-8	メンテナンス .....	82
5-8-1	バックアップと復元 .....	82
5-8-2	リブート .....	84
5-8-3	アップグレード .....	85
5-8-4	操作ログ .....	86
6.	検索 .....	87
6-1	写真検索 (スナップショット保存された画像の検索) .....	87
6-2	録画検索 .....	89
6-3	録画映像バックアップ .....	90
7.	製品仕様 .....	91
8.	Q&A .....	92
9.	製品保証 .....	94

## 1. はじめに

### 1-1 製品概要

本機（HIE-S148P4-L2A）は、アナログ HD（HD-TVI/AHD）と CVBS 入力に対応した IP エンコーダです。従来のアナログカメラ（CVBS）や最新のアナログ HD カメラの映像を IP 化することができます。PoE 機能を搭載しているため、PoE イーサネットスイッチ、PoE インジェクタ、PoE ポートを搭載した NVR と組み合わせることで、LAN ケーブルでの給電が可能です。また、接点入出力、音声入出力、RS485 出力と、豊富な外部 I/F を装備しています。

### 1-2 特徴

- ① ICR 機能の自動スイッチ、デイナイトモード
- ② 3D DNR、デジタル WDR（ワイドダイナミックレンジ）
- ③ ROI コーディング
- ④ スマートフォンや iPad のリモートモニタリングをサポート
- ⑤ アナログ HD（HD-TVI/AHD）と CVBS（NTSC/PAL）入力に対応
- ⑥ アナログ HD は 4Mpix までの解像度に対応
- ⑦ PoE 給電に対応。PoE 対応機器から LAN ケーブルを経由して電源供給が可能
- ⑧ 2 タイプのストリーミング（H. 264 or H. 265/MJPEG）配信機能を装備
- ⑨ H. 264 はもちろん、さらに圧縮率を高めた H. 265 に対応
- ⑩ Micro SD カードへ録画が可能。録画スケジュール設定も可能
- ⑪ 豊富な外部 I/F を装備しています。（アラーム入出力、音声入出力、RS485 出力）
- ⑫ +12V 出力端子を装備。カメラに電源を供給することが可能（最大 700mA）
- ⑬ モーション検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、DDNS 等を搭載。

### 1-3 監視アプリケーション

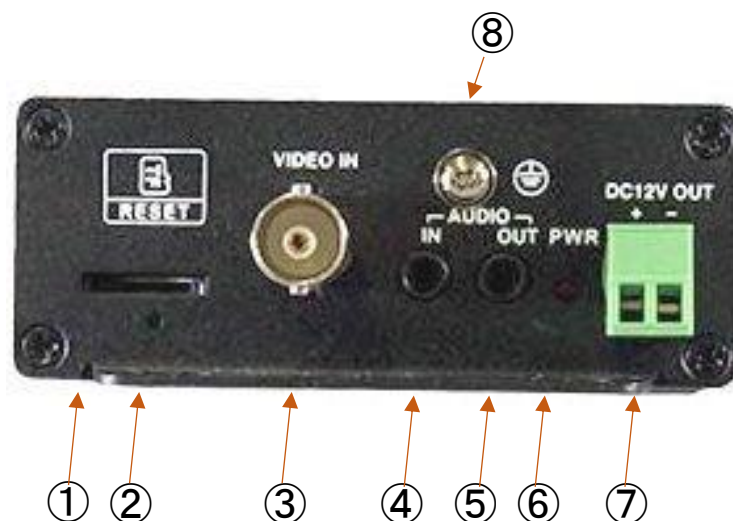
以下のようなシステム構成を組むことができます。





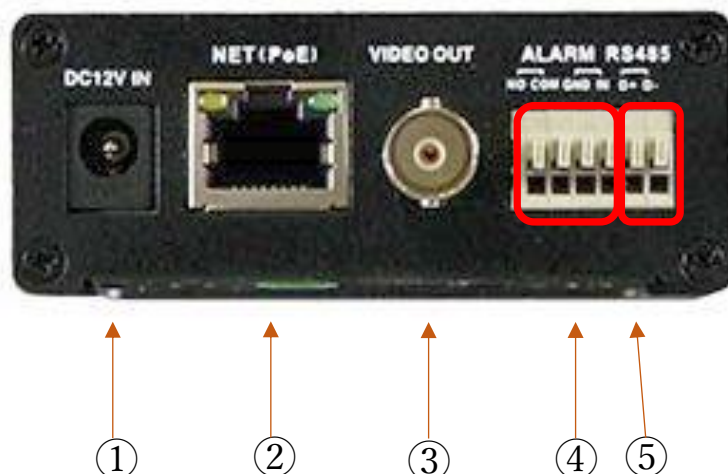
## 2. 各部の名称と役割

### 2-1 前面



項目	名称	機能
①	SD CARD	メモリーカード（Micro SD/SDHC/SDXC）をスロットに挿入します。 設定メニューのシステム→ストレージと進み SD カードのフォーマットや録画設定を行います。
②	RESET	デフォルト設定に復元します。5 秒間長押しします。
③	VIDEO IN	アナログ映像信号を入力します。（AHD/TVI/CVBS）
④	AUDIO IN	Line レベルの音声を入力します。
⑤	AUDIO OUT	Line レベルの音声を出力します。
⑥	PWR (LED)	電源入力中に点灯します。（赤色）
⑦	DC+12V OUT	DC12V を出力します。
⑧	GND 端子	本機をグランドに接続したいときに使用するネジです。

## 2-2 背面



項目	名称	機能
①	DC12V IN	DC12V を入力します。 ※PoE 給電時は接続不要です。
②	NET (PoE)	本機をネットワークに接続します。(10Mbps/100Mbps) PoE 対応機器と接続し、LAN ケーブル経由で電源を供給します。
③	VIDEO OUT	アナログ信号を出力します。(AHD/TVI/CVBS)
④	ALARM	アラーム出力 : N. O. と COM に接続します。 アラーム入力 : GND と IN に接続します。
⑤	RS485	PTZ カメラの 485 端子と接続してコントロールを行います。

### 3. ネットワーク接続

本機は LAN または WAN 経由で接続します。詳細は次の通りです。


#### 3-1 LAN

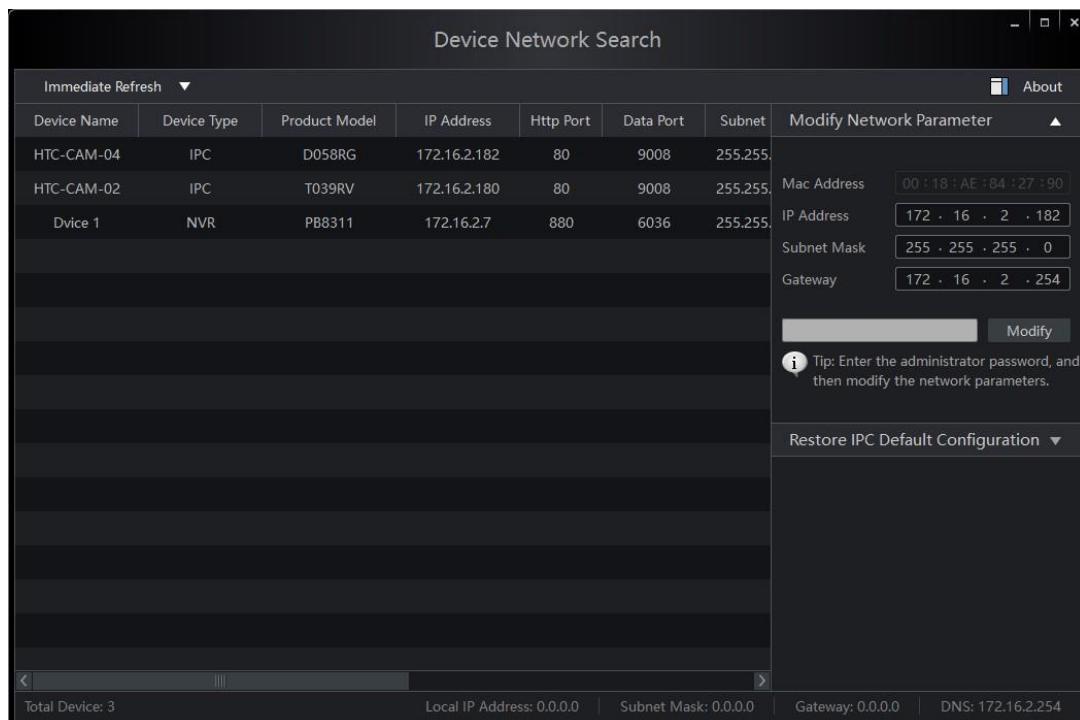
LAN では、本機のアクセス方法は 2 つあります。

##### 3-1-1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 付属 CD から IP-Tool を PC(コンピュータ)にインストールします。
- ② 本機と PC が LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコンをダブルクリックすると、以下の画面を表示します。



- ④ IP-Tool では IP アドレスを変更することが出来ます。IP-Tool を起動してしばらくすると本機の IP アドレスが表示されます。本機のデフォルト IP アドレスは「192.168.226.201」です。リストをクリックすると、右側にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスが PC のローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、本機の IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、本機の IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、本機の管理者パスワードを入力し、「Modify」ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは “123456” です。

- ⑤ デバイスをダブルクリックすると、IE（Internet Explorer）ブラウザがポップアップして本機に接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。PC の設定によっては、IE ブラウザ以外のブラウザが起動することがありますが、IE ブラウザを使用してください。

名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインをクリックします。

初期値の名前は “admin” 、 初期値のパスワードは “123456” です。

### 3-1-2 IE (Internet Explorer) による直接アクセス

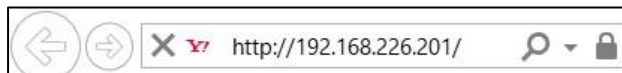
初めて本機にアクセスするときは、以下のアドレスを使用してください。(初期値)

IP アドレス : 192. 168. 226. 201      サブネットマスク : 255. 255. 255. 0  
 ゲートウェイ : 192. 168. 226. 1      HTTP ポート : 80  
 データポート : 9008

LAN ケーブルを使用して、本機と PC を直接接続します。



- ① 本機と同じネットワークセグメント (192. 168. 226. xxx) に PC の IP アドレスを手動で設定します。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。(例 : Windows10)
- ② イーサネットのプロパティから「インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し「OK」をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、アドレスバーに本機のデフォルト IP アドレスを入力します。



- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。
- ⑤ 名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインをクリックします。

初期値の名前は “admin” 、 初期値のパスワードは “123456” です。

The screenshot shows the login interface for the 'webcam' system. On the left is a large circular graphic with a camera lens in the center and various city icons around it. On the right is the login form with the following fields and options:

- 名前 (Name): Text box containing 'admin'
- パスワード (Password): Text box with placeholder text 'パスワードを入力してください'
- ストリーム形 (Stream Format): Dropdown menu set to '1920x1080 10fps'
- 言語 (Language): Dropdown menu set to '日本語'
- ☐ パスワードを覚える (Remember password)
- ログイン (Login): Blue button

## 3-2 WAN

WAN では、本機のアクセス方法は 2 つあります。

### 3-2-1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① 本機がローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でログインします。
- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ③ 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP メニューに移動して、IP アドレスを設定します。「以下の IP アドレスを使用してください」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する <input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>		<input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

- ④ WAN 経由で通信する場合は、ルータにポートフォワーディングの設定を追加する必要があります。
- ⑤ ルータのポートフォワーディング設定後、IE ブラウザを開き、WAN IP と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることが出来ます。例：http://xxx.xxx.xxx.xxx:80

### 3-2-2 PPPoE によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP ⇒ PPPoE 設定メニューに移動して、「有効」にチェックを入れます。インターネットサービスプロバイダ (ISP) から提供されたユーザー名とパスワードを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="checkbox"/> 有効			
ユーザー名		<input type="text"/>	
パスワード		<input type="text"/>	
<input type="button" value="保存"/>			

- ③ 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ DDNS 設定メニューに移動します。DDNS を設定する前に、事前に「ドメイン名」を申請しておきます。詳細は「5.6.4 DDNS 設定」を参照してください。
- ④ IE ブラウザを開き、ドメイン名と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることが出来ます。

### 3-2-3 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP メニューに移動して、IP アドレスを設定します。「以下の IP アドレスを使用してください」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>		<input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

- ③ IE ブラウザを開き、WAN IP と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることができます。 例：http://xxx.xxx.xxx.xxx:80



## 4. ライブ画面

右上の”ライブ”タブをクリックするとライブ映像を表示します。



### ライブ画面①の操作




ライブビューのストリームを選択できます。第1ストリーム 第2ストリーム、第3ストリームから選択します。それぞれのストリーム設定は「5.2.2 ビデオ/音声」を参照して設定します。

配信方法を選択します。

即刻：リアルタイム配信、標準：バランス配信、流暢：スムーズ配信

### ライブ画面②の表示

アラームなどの表示をします。

アイコン	説明	アイコン	説明
 	動体アラームを表示 ※1		センサーアラームを表示

※1 動き検出を有効に設定すると表示されます。動きを検出するとアイコンが赤く点滅します。

## ライブ画面③の操作

画面サイズを選択できます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	オリジナルサイズ		適切なサイズ
	ウィンドウのサイズを合わせる		フルスクリーンモード ※2

※2 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスで画面上をダブルクリックするか、キーボードの ESC キーを押します。

## ライブ画面④の操作

各種機能のオン/オフ操作

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双方向オーディオのオン/オフ
	オーディオ出力のオン/オフ(調整)		スナップショット (Local 保存)
	手動録画のオン/オフ (Local 保存)		ズームイン (デジタルズーム)
	ズームアウト (デジタルズーム)		COC (Coax Over Control) ※3
	PTZ ※4		





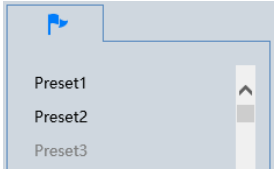



※3 COC に対応したカメラの場合、をクリックするとカメラの設定メニューを表示することができます。 でメニューの選択、変更、確定ができます。

※3 PTZ に対応したカメラの場合、以下の設定ができます。

PTZ のアイコンをクリックすると、ライブビュー画面の右側に以下の操作パネルを表示します。



アイコン	説明
	Pan(左右)、Tilt(上下)の制御を行います。 矢印をクリックすると、カメラを上下左右に動かすことができます。
	Zoom(拡大・縮小)の制御を行います。 で拡大し、 で縮小します。
	Focus(焦点)の調節を行います。 で近くの物体に、 で遠くの物体に焦点を合わせます。

アイコン	説明
	Iris(絞り)で光の量を調節します。  で光の量を減らし、  で光の量を増やします。
	PTZ のスピードを調節します。(8 段階) ー側は遅くなり、+側は速くなります。
	プリセットを設定します。最大 255 個のプリセットを作成できます。 Pan、Tilt、Zoom を操作してカメラ位置を決めたら、プリセット番号にマウスカーソルを移動します。プリセット番号の右側の  をクリックするとカメラ位置を保存します。  をクリックすると、プリセット位置に移動します。  をクリックすると、プリセットを削除します。



※本機にアクセスしたとき、Active X のインストールを促すメッセージが表示されることがあります。Active X をインストールしないと、画像を表示することができません。インストールするときは IE ブラウザを閉じます。もしインストールに失敗したときは再アクセスして、Active X のインストールをやり直します。



※IE(Internet Explorer)ブラウザは必ず管理者として起動して操作して下さい。管理者権限の起動方法は「5-8-3 アップグレード」を参照してください。管理者として起動しないとスナップショット画像やビデオ映像がローカル設定で指定したフォルダに保存されても検索できません。

## 5. 設定ホーム

右上の”設定”タブをクリックすると設定メニューを表示します。



### 5-1 システム

システムを選択すると以下の画面になります。ここでは、基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージ、4つのサブメニューがあります。



### 5-1-1 基本情報

本機の基本情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム ▶ 基本情報	
デバイス名	IP ENC 2
製品モデル	H016P6
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	4.2.1.0(23650)
ソフトウェア構築日	2019-09-17
カーネルのバージョン	20171128
ハードウェアバージョン	1.3
Onvifバージョン	18.06
OCXバージョン	2.0.4.1
MAC	00:18:ae:9c:13:a4

### 5-1-2 日付と時間

本機の日付と時間の設定をします。

#### ➤ タイムゾーン

“ゾーン” タブを開き、タイムゾーンと DST の設定をします。

設定ホーム ▶ システム ▶ 日付と時間	
ゾーン	日時
ゾーン	GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul, Irkutsk) ▼
<input type="checkbox"/> DST	
<input checked="" type="radio"/> 自動DST	
<input type="radio"/> 手動DST	
開始時間	1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間
終了時間	2月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間
時間ズレ	120 分 ▼
保存	

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo)」です。
DST (daylight saving time)	DST にチェックを入れると、サマータイムが有効になります。

## ➤ 日時設定

“日時” タブを開き、日付と時刻の設定をします。

設定ホーム ▶ システム ▶ 日付と時間

ソーン **日時**

タイムモード

☒ NTP 時間校正

NTPサーバー:  更新期間  分

☐ パソコンと時間同期

日付  時間

☐ 手動で

日付  時間

保存

日付と時刻の設定方法は 3 つあります。

### ● NTP

NTP サーバから正しい時刻情報を取得して時間校正をします。

「NTP 時間校正」を選択して NTP サーバのアドレスと更新間隔を入力します。

### ● パソコンと時間同期

パソコンの時間と自動的に同期を取り時間校正をします。



「パソコンと時間同期」を選択します。

### ● 手動

手動で時間を校正します。

「手動」を選択します。 をクリックして、カレンダーから日付を選択し、時間を入力します。

### 5-1-3 ローカル設定

17 ページのライブ画面④のスナップショットアイコン  で操作した静止画像や手動録画アイコン  を操作したビデオ映像の保存先をローカル PC に設定します。

設定ホーム ▶ システム ▶ ローカル設定

画像パス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetIPCamera"/>	<input type="button" value="ブラウズ"/>
録画ファイルパスを保存	<input type="text" value="C:\Users\Hiruma\Videos\testvideo"/>	<input type="button" value="ブラウズ"/>
ビデオファイルのサウンド設定	<input type="radio"/> オープン <input checked="" type="radio"/> 閉じる	
ビットレートを表示する	<input type="radio"/> オープン <input checked="" type="radio"/> 閉じる	

表示	説明
画像パス（静止画）	スナップショットの画像を PC 内のフォルダに保存します。ブラウズをクリックして保存先フォルダを指定します。
録画ファイルパス	録画したビデオ映像を PC 内のフォルダに保存します。ブラウズをクリックして保存先フォルダを指定します。
ビデオファイルのサウンド設定	保存したビデオファイルの音声を、有効（オープン）または無効（閉じる）に設定します。
ビットレートを表示する	ライブ画像の右下にビットレートを表示します。有効（オープン）または無効（閉じる）に設定します。 ※ 保存した画像にビットレートは表示されません。



※IE (Internet Explorer) ブラウザは必ず管理者として起動して操作して下さい。管理者権限の起動方法は「5-8-3 アップグレード」を参照してください。管理者として起動しないとスナップショット画像やビデオ映像がローカル設定で指定したフォルダに保存されても検索できません。

### 5-1-4 ストレージ

本機に取付けた SD カードの状態確認と録画ストリームを設定します。

#### ➤ 管理

設定ホーム ▶ システム ▶ ストレージ

管理 録画 スナップショット

総画像容量 6088 MB

画像残りのスペース 6087 MB

総録音容量 54720 MB

残りのスペースを記録する 54720 MB

状態 ノーマル

スナップショットクォータ 10 %

ビデオクォータ 90 %

クォータ比の変更は、有効になる前にフォーマットする必要があります。

ポップアップ

フォーマット

表示	説明
総画像容量	SD カードのスナップショット用フォルダの総容量を表示します。
画像残りのスペース	SD カードのスナップショット用フォルダの残容量を表示します。
総録画容量	SD カードの総容量を表示します。
残りのスペースを記録する	SD カードの残容量を表示します。
状態	SD カードのステータスを表示します。
スナップショットクォータ	SD カードの容量のうち何%をスナップショット用に割り当てるか設定します。
ビデオクォータ	SD カードの容量のうち何%を録画映像用に割り当てるか設定します。
ポップアップ	このボタンをクリックしてから、SD カードを取り外します。
フォーマット	このボタンをクリックして、SD カードのフォーマットをします。 SD カードに保存されているすべてのスナップショットと録画映像が消去されます。



## ➤ 録画

ビデオ映像録画時のストリーム選択とプレ録画、録画スケジュールを設定します。

管理 録画 スナップショット

録画パラメータ

レコードストリーム 第1ストリーム

事前録音時間 事前記録なし ( H264,H265,MJPEG )

サイクル書込み いいえ

定時

☐ スケジュール記録を有効にする

○ 消去する ● 追加する

週日程

日

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

月

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

火

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

水

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

木

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

金

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

土

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

休日スケジュール

日付 05-18

追加する

削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

保存

## ● 録画パラメータ

表示	説明
レコードストリーム	録画時のストリーム(第1/第2/第3)を選択します。
事前録音時間	事前記録なし(プレ録画なし)、3秒(プレ録画あり)、6秒(プレ録画あり)から選択します。 3秒または6秒を選択すると検知する3秒または6秒前からプレ録画を開始します。
サイクル書き込み	上書き録画を設定します。

## ● 定時

録画スケジュールを設定することができます。

録画したいときは「スケジュール記録を有効にする」にチェックを入れます。

スケジュールは初期設定で24時間連続に設定されています。(緑帯になっている時間帯は録画します。)録画しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は2つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

## ● 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。

複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。

## ➤ スナップショット

スナップショット画像を保存するパラメータ、スケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ システム ▶ ストレージ

管理 録画 **スナップショット**

### スナップショットパラメータ

画像フォーマット

解像度

画質

### トリガーされたイベント

スナップショット間隔  秒

スナップショット数量

### 定時

☐ タイミング・スナップショットを有効にする

スナップショット間隔  秒

☐ 消去する ☒ 追加する

### 週日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24  
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24  
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

## ● スナップショットパラメータ

表示	説明
画像フォーマット	JPEG 固定
解像度	352x240 固定
画質	高い、中、低い から選択します。

## ● トリガーされたイベント

動き検出やラインクロッシングなどが有効に設定されており、SD カード画像トリガーにチェックが入っていると静止画像を取得できます。

表示	説明
スナップショット間隔	設定した時間間隔で静止画像を取得します。
スナップショット数量	設定した枚数の静止画像を取得します。

## ● 定時

定期的に静止画像を取得するスケジュールを設定することができます。

スケジュールを有効にするときは「タイミング・スナップショットを有効にする」にチェックを入れます。次に、静止画像を取得する間隔を入力します。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は画像取得します。）画像取得しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウィンドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

## ● 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。

複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

## 5-2 イメージ

イメージを選択すると以下の画面になります。ここでは、ディスプレイの設定、ビデオ/音声、OSD、ビデオマスク、ROI 設定、5 つのサブメニューがあります。



### 5-2-1 ディスプレイの設定

#### ➤ カメラのパラメータ

輝度、コントラスト、色相など画質を調節します。

“デフォルト” をクリックすると初期設定に戻り、“除去” をクリックすると直近で入力した設定がリセットされます。



表示	説明
配置ファイル	調整した設定値を通常、昼間、夜で3つ保存できます。 スケジュール設定を使うと昼と夜で設定を自動切換えすることができます。
輝度	画像の明るさを調節します。 設定範囲 (0-100)
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの差を調節します。 設定範囲 (0-100)
色相	画像の色合いを調節します。 設定範囲 (0-100)
飽和度	色の濃さを調節します。 設定範囲 (0-100)
Image Shift	画像の左右のズレを調節します。画像の左右に縦の黒い帯が出ているとき調節してください。通常は調節不要です。 設定範囲 (0-100)
シャープネス	画像の輪郭を強調するときに調整します。調整する前にシャープネスにチェックを入れて有効にします。 設定範囲 (0-255)
ノイズ減少	ノイズを減らして見た目を良くするために調整します。調整する前にノイズ減少にチェックを入れて有効にします。値を大きくすると、ノイズの減少が大きくなりますが、解像度が低下します。 設定範囲 (0-255)
VideoMode	本機に入力するアナログ映像のフォーマットに合わせて設定します。通常は AUTO に設定します。 設定範囲 : AUTO、AHD、TVI、CVI、CVBS
ビデオシステム	50Hz または 60Hz から選択します。
廊下パターン	90 度単位で画像を回転します。0/90/180/270 から選択します。
イメージミラー	“オープン” を選択すると、画像を左右反転させます。
イメージフリップ	“オープン” を選択すると、画像を上下反転させます。



※CVBS 信号では、エンコードした映像の動きのある部分にギザギザが発生します。これは、CVBS がインターレース方式のためです。本機はデインターレース機能に対応していないため、ギザギザを除去することはできません。

## ➤ スケジュール

画質調整したカメラパラメータを昼と夜で切替えるスケジュールを設定します。

### ● フルタイム（24 時間同じカメラパラメータを使用）

設定ホーム ▶ イメージ ▶ ディスプレイの設定

カメラのパラメータ **スケジュール**

スケジュール フルタイム ▼

配置ファイル 通常 ▼

保存

### ● 定時（スケジュールでカメラパラメータを自動切換）

設定ホーム ▶ イメージ ▶ ディスプレイの設定

カメラのパラメータ **スケジュール**

スケジュール 定時 ▼

時間範囲

0:00 4:00 8:00 12:00 16:00 20:00 24:00

■ 昼間 ■ 夜

保存

表示	説明
スケジュール	フルタイムと定時から選択します。定時を選択するとスケジュール設定する画面に切り換わります。
配置ファイル	カメラパラメータを選択します。 通常、昼、夜、AUTO から選択します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

## 5-2-2 ビデオ/音声

画像やオーディオの配信に関する設定をします。

### ➤ ビデオ

第1～第3ストリームの解像度やフレームレートの設定をします。

設定ホーム ▶ イメージ ▶ ビデオ/音声

ビデオ オーディオ

Index	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	i-フレーム間隔	ビデオ圧縮	プロフィール
1	第1ストリーム	1920x1080	10	VBR	2048	より高い	20	H265	High Profile
2	第2ストリーム	352x240	7	CBR	64	より高い	14	H265	High Profile
3	第3ストリーム	704x480	30	CBR	512	より高い	60	H265	High Profile

スナップショットを送信 [2] サイズ (352x240)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264, H265)      ウォーターマーク符号

保存

表示	説明	
解像度	第1ストリーム	2560X1440、2304X1296、2048X1536、1920x1080、1280X960、1280x720
	第2ストリーム	704x480、640x480、352x240
	第3ストリーム	704x480、480x240、352x240
フレームレート	フレームレートを設定します。 1秒間あたりの映像の枚数を設定します。枚数が多いほど動きが滑らかになります。1～30fps	
ビットレートタイプ	VBR または CBR を選択します。 VBR：可変ビットレート、CBR：固定ビットレート	
ビットレート	CBR を選択したときプリセットされているビットレートを選択。 または手動でビットレートを入力します。 数値が大きいほど映像の破綻が少なくなりますが、データ量が増えるためネットワークへの負担が重くなります。	
ビデオ品質	VBR を選択したときビデオ品質が選択できるようになります。 品質を高くすると、データ量が増えるためネットワークへの負担が重くなります。	
i フレーム間隔	何フレーム間隔で i フレームを送るか設定します。	
ビデオ圧縮	映像の圧縮方式を H. 264/H. 265/MJPEG から選択します。	
プロフィール	圧縮方式で H. 264 を選択したとき、Base Line、Main Profile、High Profile から選択します。	



スナップショット	イベント発生時に送信する、スナップショットの枚数を設定します。画像サイズは 352x240 に固定されています。
ビデオエンコードスライス分割	チェックを入れると有効になります。 低性能の PC を使用した場合でも滑らかな画像を表示します。
ウォーターマーク (H264、H265)	チェックを入れると有効になります。 ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。 検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生するときにウォーターマークを表示できます。



※本機を動作状態にしたままで、カメラの入力信号を OFF/ON すると、ビデオ圧縮方式以外の設定値は初期値に戻りますので、カメラの交換作業や電源設備の点検などを行う場合はご注意ください。初期化された場合は、改めて設定しなおしてください。先にカメラの電源を投入してカメラが起動した後に本機の電源を投入することで、設定値は保持されます。

## ➤ オーディオ

音声コーデックの設定をします。

設定ホーム ▶ イメージ ▶ ビデオ/音声	
ビデオ	オーディオ
オーディオ形式 <span>G711A</span>	オーディオ種類 <span>MIC</span>
保存	

表示	説明
オーディオ形式	音声コーデックを G. 711A または G. 711U から選択します。
オーディオ種類	音声入力を MIC または LINE から選択します。

### 5-2-3 OSD

カメラ画像に表示させる文字（OSD：On Screen Display）を設定します。

設定ホーム ▶ イメージ ▶ OSD



日付形式
MM-DD-YYYY

☒ タイムスタンプ表示

デバイス名
ENC1

☒ デバイス名表示

☐ OSD自己定義1
☐ 1行を追加

☐ OSD自己定義2
☐ 1行を追加

☐ OSD自己定義3
☐ 1行を追加

☐ OSD自己定義4
☐ 1行を追加

保存

表示	説明
日付形式	<p>「タイムスタンプ表示」にチェックを入れ、OSD を有効にします。 年月日の表示形式を選択すると、ディスプレイ上に日付を表示します。表示位置は、赤色の文字をドラッグ&amp;ドロップして移動します。（時間は最後尾に表示） 《 YYYY：年、 MM：月、 DD：日 を表します 》</p>
デバイス名	<p>「デバイス名表示」にチェックを入れ、OSD を有効にします。 デバイス名を入力すると、ディスプレイ上にデバイス名を表示します。表示位置は 赤色の文字をドラッグ&amp;ドロップして移動します。</p>
OSD 自己定義	<p>日付時間とデバイス名以外に追加したい文字を設定できます。 OSD 自己定義にチェックを入れて有効にします。 文字列を入力するとディスプレイ上に追加した文字を表示します。 表示位置は、赤色の文字をドラッグ&amp;ドロップして移動します。 「1 行を追加」にチェックを入れると、1 行追加できます。</p>

### 5-2-4 ビデオマスク

画像の中に表示させたくないエリアがあるときはビデオマスクを設定します。ビデオマスクは最大4か所に設定できます。



#### ➤ ビデオマスクの設定方法

- ① 「有効」にチェックを入れます。
- ② 「ドローエリア」をクリックします。画面上でマウスをドラッグしてビデオマスクのエリアを設定します。（緑色のマス目を表示します）エリアを再設定するときは「クリアー」をクリックします。（すべてのエリアを削除します）
- ③ エリアの設定を止めるときは「ドローを停止する」をクリックします。
- ④ 「保存」をクリックすると、ビデオマスクのエリアを保存します。



「ドローエリア」⇔「ドローを停止する」

### 5-2-5 ROI 設定

ROI (Region of Interest) を設定します。ROI を設定した領域のみ解像度が上がり、他の部分よりはっきりした映像になります。



#### ➤ ROI (Region of Interest) の設定方法

- ① 「有効」にチェックを入れます。
- ② 「ドローエリア」をクリックします。画面上でマウスをドラッグして ROI 領域のエリア（赤枠）を設定します。エリアを再設定するときは「クリアー」をクリックします。
- ③ エリアの設定を止めるときは「ドローを停止する」をクリックします。
- ④ ROI のレベルを調整します。
- ⑤ 「保存」をクリックすると、ROI 領域のエリアを保存します。

### 5-3 PTZ

PTZ を選択すると以下の画面になります。ここでは、PTZ 制御のプロトコル設定をします。



#### 5-3-1 PTZ プロトコル

プロトコルやアドレス、ボーレートを設定します。

設定ホーム ▶ PTZ ▶ プロトコル

プロトコル	PELCOD ▼
アドレス	1
ボーレート	2400 ▼

保存

制御したい PTZ カメラの設定に合わせてください。

表示	説明
プロトコル	PELC0-P または PELC0-D を選択します。
アドレス	1～255 の間で整数を入力してください。
ボーレート	110、300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200



※プロトコル、アドレス、ボーレートの設定は制御したい PTZ カメラ側の設定に合わせないと制御することができません。また、PTZ カメラと本機を 1 対 1 で接続するときは問題ありませんが、PTZ カメラと本機が複数あり RS485 の配線を数珠繋ぎに接続すると、同じアドレスに設定されているカメラは、同時に制御されることになります。それぞれ異なるアドレスに設定する必要があります。

## 5-4 アラーム

アラームを選択すると以下の画面になります。ここでは、動き検出、異常、アラームイン、アラームアウト、アラームサーバ、5つのサブメニューがあります。



### 5-4-1 動き検出

動体検知を設定します。

#### ➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 動き検出

アラーム設定   エリアと感度   スケジュール

☒ 有効

アラーム保持時間   3秒   ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ SDカード画像取りトリガー

☐ SDカード録画トリガー

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
アラーム保持時間	映像に動きを検出したときライブ画面右上に表示する動体アラームアイコンが点滅する時間を設定します。
アラーム出力トリガー	映像に動きがあったときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
SD カード画像取りトリガー	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画トリガー	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ エリアと感度

動体検知を行うエリアを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 動き検出

アラーム設定   **エリアと感度**   スケジュール

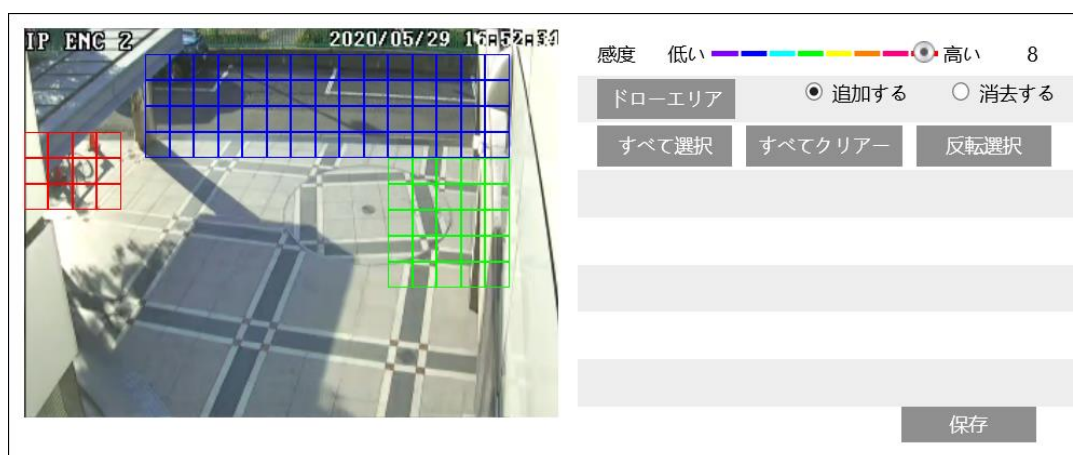
IP ENC 2

2020/05/29 16:38:27

感度 低い 高い 2

☒ ドローエリア
☐ 追加する
☐ 消去する





- ① 「ドローエリア」をクリックします。画面上でマウスをドラッグして動体検知のエリアを設定します。感度バーを変更して繰り返し描画すると、動体検知エリアの色は感度バーで設定した色で描画されていきます。エリアを再設定するときは「すべてクリアー」をクリックして再描画します。
- ② エリアの設定を止めるときは「ドローを停止する」をクリックします。
- ③ 「保存」をクリックすると、動体検知エリアを保存します。

## ➤ スケジュール

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 動き検出

アラーム設定 エリアと感度 **スケジュール**

○ 消去する ● 追加する

**週日程**

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

**休日スケジュール**

日付

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	00:00-24:00 手動入力																								



- 定時

動体検知を有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は動体検知します。）動体検知しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

- 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

### 5-4-2 異常

SD カードフル、SD カードエラー、IP アドレスの競合、ケーブル接続異常が発生したときの通知方法を設定します。「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

#### ➤ SD カードフル

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル   SDカードエラー   IPアドレスの衝突   ケーブルが接続されていない

☒ 有効

アラーム保持時間   20秒   ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
アラーム保持時間	SD カードの容量が無くなったときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
アラーム出力トリガー	SD カードの容量が無くなったときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、「添付写真」にチェックを入れます。
FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ SD カードエラー

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル   SDカードエラー   IPアドレスの衝突   ケーブルが接続されていない

☒ 有効

アラーム保持時間   20秒   ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
アラーム保持時間	SD カードにエラーが発生したときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
アラーム出力トリガー	SD カードにエラーが発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、「添付写真」にチェックを入れます。
FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

➤ IP アドレスの衝突

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの衝突 ケーブルが接続されていない

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒 ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

保存

表示	説明
アラーム保持時間	IP アドレスの競合が発生したときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
アラーム出力トリガー	IP アドレスの競合が発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。

➤ ケーブルが接続されていない

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの衝突 ケーブルが接続されていない

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒 ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

保存

表示	説明
アラーム保持時間	ケーブル接続異常が発生したときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
アラーム出力トリガー	ケーブル接続異常が発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。

### 5-4-3 アラームイン

アラーム入力を設定します。

#### ➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームイン

アラーム設定

スケジュール

☒ 有効

アラームタイプ 

N.O. ▼

アラーム保持時間 

30秒 ▼

センサー名

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ SDカード画像取りトリガー

☐ SDカード録画トリガー

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
アラームタイプ	N.O.（ノーマルオープン）と N.C.（ノーマルクローズ）を設定します。
アラーム保持時間	ライブ画面上に表示するアラームアイコンの表示時間を設定します。
センサー名	センサーの名称を入力します。
アラーム出力トリガー	チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
SD カード画像取りトリガー	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画トリガー	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。

E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。 リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ スケジュール

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームイン

アラーム設定 スケジュール

○ 消去する ● 追加する

連日程

日

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

月

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

火

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

水

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

木

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

金

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

土

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

休日スケジュール

日付

06-04

追加する

削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

保存

- 定時

アラーム入力を有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は有効です。）アラーム入力を無効にする時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

- 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

#### 5-4-4 アラームアウト

アラーム出力の設定をします。

##### ➤ アラーム連動

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード	アラーム連動 ▼
アラーム出力名	alarmOut1
アラーム保持時間	30秒 ▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	アラームに連動してアラームを出力します。
アラーム出力名	アラームの名称を入力します。
アラーム保持時間	アラーム出力の持続時間を設定します。

##### ➤ 手動操作

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード	手動操作 ▼
手動操作	<div>オープン</div> <div>閉じる</div>

保存

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム出力を手動で操作します。
手動操作	「オープン」または「閉じる」をクリックして、アラーム出力のオンまたはオフを手動で操作できます。



## ➤ 昼/夜のスイッチリンケージ

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード 昼/夜のスイッチリンケージ ▼

昼間 閉じる ▼

夜 閉じる ▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	昼モードと夜モードの切り替えに連動してアラームを出力します。
昼間	昼モード時のアラーム出力をオンまたはオフに設定します。
夜	夜モード時のアラーム出力をオンまたはオフに設定します。



※照明や赤外線ライトを連動させるなどが想定されます。

## ➤ 定時

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード 定時 ▼

○ 消去する ● 追加する

時間範囲 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 手動入力

保存

表示	説明
アラーム出力モード	設定した時間になるとアラームを出力します。
時間範囲	アラームを動作させたい時間を設定します。

#### 5-4-5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生したとき、アラームイベントをアラームサーバに転送します。アラームサーバのサーバアドレスとポート番号、死活監視を設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="0"/>
ハートビート	無効にする <input type="button" value="v"/>
ハートビート間隔	<input type="text" value="30"/> 秒

OK

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバのアドレスを入力します。
ポート	アラームサーバのポート番号を入力します。
ハートビート	死活監視機能を設定します。
ハートビート間隔	ハートビートの間隔を設定します。 設定範囲：10 秒～1800 秒

## 5-5 イベント

イベントを選択すると以下の画面になります。ここでは、例外、ラインクロッシング、エリア侵入検知、3つのサブメニューがあります。



### 5-5-1 例外

この機能は、カメラに対する妨害を検出する機能です。必要な検出にチェックを入れます。アラーム保持時間やアラームトリガーの設定方法は「5-4-1 動き検出」と同じです。

設定ホーム ▶ イベント ▶ 例外

**検出設定**    感度

☐ シーンチェンジ検出

☐ ビデオブラー検出

☐ ビデオキャスト検出

アラーム保持時間    20秒    ▼

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ SDカード画像取りトリガー

☐ SDカード録画トリガー

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
シーンチェンジ検出	カメラの方向を急に大きく変える
ビデオブラー検出	ピントをぼかす
ビデオキャスト検出	カメラの前を隠すなど映像が不明瞭になる
アラーム保持時間	ライブ画面上に表示するアラームアイコンの表示時間を設定します。
アラーム出力トリガー	チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
SD カード画像取りトリガー	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画トリガー	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ 感度

検出の感度を設定します。

シーンチェンジ検出 : 数値が大きいほど敏感に反応します。

ビデオブラー検出 : 数値が大きいほど画像のぼやけに敏感に反応します。

ビデオキャスト検出 : 数値が大きいほど画像の不明瞭に対する感度が高くなります。

設定ホーム ▶ イベント ▶ 例外

検出設定	感度
感度	<input type="range"/> <input type="text" value="50"/>
保存	



カメラのオートフォーカス機能は有効にしないでください。また、被写体の光が大きく変化する場合、本機能は有効にしないでください。

### 5-5-2 ラインクロッシング

ラインクロッシングを設定します。

画像の中に電子的に線を引き、その線を越える（またぐ）とアラームを出力します。

#### ➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ イベント ▶ ラインクロッシング

☒ 検出設定
 ☐ エリア
 ☐ スケジュール

☒ 有効

アラーム保持時間

アラーム出力トリガー

☐ アラームアウト

☐ SDカード画像取りトリガー

☐ SDカード録画トリガー

☐ Eメールトリガー

☐ FTPトリガー

保存

表示	説明
アラーム保持時間	ライブ画面上に表示するアラームアイコンの表示時間を設定します。
アラーム出力トリガー	チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
SD カード画像取りトリガー	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画トリガー	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、「添付写真」にチェックを入れます。

FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。
-------------	--

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ エリア

ラインクロッシングを行う電子的な線を設定します。4本の線を描けます。


設定ホーム ▶ イベント ▶ ラインクロッシング

検出設定   **エリア**   スケジュール



ドローエリア   クリアー   保存

- ① 「ドローエリア」をクリックします。アラームラインを1～4の中から選択します。アラームラインは最大4本まで設定できます。  
画面上でマウスをドラッグしてアラームラインを引きます。アラームラインを引いたら、線をまたぐ方向（例：A⇒B など）を選択します。アラームラインを再設定するときは「クリアー」をクリックして再描画します。
- ② アラームラインの設定を止めるときは「ドローを停止する」をクリックします。
- ③ 「保存」をクリックすると、動体検知エリアを保存します。

 オートフォーカス機能は無効にします。有効の場合、映像信号が大きく変化してアルゴリズムが一時的に機能しなくなります。映像内で光が大きく変化する場合、ラインクロッシングは有効にしないでください。検出ラインは画面中央になるよう調整します。障害物（樹木、茂み、旗など）は検出領域の外側になるようにします。

## ➤ スケジュール

設定ホーム ▶ イベント ▶ ラインクロッシング

検出設定 エリア **スケジュール**

○ 消去する ● 追加する

### 週日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

### 休日スケジュール

日付

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	00:00-24:00 手動入力																								

### ● 定時

ラインクロッシングを有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯はラインクロッシングを検知します。）検知しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

## ● 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。

以下のような映像は推奨されません。



### 悪い例①

この被写体は、道路の近くに非常に多くの木があり、道路上を走る車があるため、このような映像は複雑すぎて交差するオブジェクトを検出できません。



### 悪い例②

地面は植物で覆われています。フェンスの右側には人々が頻繁に通り過ぎるジムがあります。このような環境は複雑すぎて交差するオブジェクトを検出できません。



### 5-5-3 エリア侵入検知

エリア侵入検知を設定します。

画像の中に設定したエリアに侵入すると、アラームを出力します。

#### ➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

表示	説明
アラーム保持時間	ライブ画面上に表示するアラームアイコンの表示時間を設定します。
アラーム出力トリガー	チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
SD カード画像取りトリガー	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画トリガー	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。
E メールトリガー ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。

FTP トリガー ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。
-------------	--

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## ➤ エリア

エリア侵入検知を行うエリアを設定します。4つのエリアを描けます。

設定ホーム ▶ イベント ▶ エリア侵入検知


検出設定   **エリア**   スケジュール

IP ENC 2   2020/06/30 14:20:56   アラームエリア   1 ▼



ドローエリア   クリアー   保存

- ① 「ドローエリア」をクリックします。アラームエリアを1～4の中から選択します。アラームエリアは最大4つまで設定できます。  
画面上でアラームエリアとして設定したいエリアの周りをクリックします。（アラームエリアは閉じたエリアとする必要があります。）アラームエリアを再設定するときは「クリアー」をクリックして再描画します。
- ② アラームエリアの設定を止めるときは「ドローを停止する」をクリックします。
- ③ 「保存」をクリックすると、エリア侵入検知のエリアを保存します。

 オートフォーカス機能は無効にします。有効の場合、映像信号が大きく変化してアルゴリズムが一時的に機能しなくなります。映像内で光が大きく変化する場合、侵入検知は無効に設定してください。検出エリアは画面中央になるよう調整します。検出された被写体は約2秒間検出エリアに留まる必要があります。

## ➤ スケジュール

設定ホーム ▶ イベント ▶ エリア侵入検知

検出設定   エリア   **スケジュール**

○ 消去する   ● 追加する

**週日程**

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00																								手動入力
月	00:00-24:00																								手動入力
火	00:00-24:00																								手動入力
水	00:00-24:00																								手動入力
木	00:00-24:00																								手動入力
金	00:00-24:00																								手動入力
土	00:00-24:00																								手動入力

**休日スケジュール**

日付      

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

### ● 定時

エリア侵入検知を有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯はエリア侵入を検知します。）検知しない時間帯をスケジュールに追加するときには、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

## ● 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。

以下のような映像は推奨されません。



### 悪い例①

この被写体は、たくさんの木があります。このような映像は複雑すぎて侵入検出できません。



### 悪い例②

夜間の街路灯は光の干渉につながります。風の強い日に揺れる木々はランダムな干渉を引き起こします。このような映像は侵入検知に不適切となります。

## 5-6 ネットワーク

ネットワークを選択すると以下の画面になります。ここでは、TCP/IP、ポート、サーバ、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、UPnP、Email、FTP、HTTPS、QoS、12のサブメニューがあります。



### 5-6-1 TCP/IP

TCP/IP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使用してください

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>	<input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>	
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>	
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>	

## ➤ IPv4

IPv4 設定には 2 つの方法があります。

- ① 自動的に IP アドレスを取得する。(DHCP より IP アドレスを自動取得します。)
- ② 手動設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>		
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

## ➤ IPv6

IPv6 設定には 2 つの方法があります。

- ① 自動的に IP アドレスを取得する。(DHCP より IP アドレスを自動取得します。)
- ② 手動設定

IP アドレス、サブネット長、ゲートウェイを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="fe80::20c:29ff:fe37:3729"/>		
サブネット長	<input type="text" value="64"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="fe80::20c:29ff:fe37:1"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

### ➤ PPPoE 設定

「有効」にチェックを入れます。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）から提供される、ユーザ名とパスワードを入力して「保存」をクリックします。WAN IP アドレスを取得するとインターネットに接続できます。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="checkbox"/> 有効			
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="password"/>		
			保存

### ➤ IP 変更通知設定

本機の IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的に E メールまたは FTP に送信されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP	
IPv4	IPv6
PPPoE設定	IP変更通知設定
<input checked="" type="checkbox"/> Eメールトリガー 電子メールの受信者 <input type="text"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> FTPトリガー サーバーアドレス <input type="text"/>	
保存	

E メールに送信したいときは「E メールトリガー」にチェックを入れます。

※1 事前に「5-6-9 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

FTP に送信したいときは「FTP トリガー」にチェックを入れます。

※2 事前に「5-6-10 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

## 5-6-2 ポート

ポートを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>									
保存										

表示	説明
HTTP ポート	デフォルトの HTTP ポートは 80 です。
HTTPS ポート	デフォルトの HTTPS ポートは 443 です。
データポート	デフォルトのデータポートは 9008 です。
RTSP ポート	デフォルトの RTSP ポートは 554 です。

## 5-6-3 サーバ

サーバを設定します。

「有効」にチェックを入れます。

- ① ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ② ECMS/NVMS の新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ③ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ④ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認します。
- ⑤ 上記のサーバポート、サーバアドレス、デバイス ID を入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効										
サーバポート	<input type="text" value="2009"/>									
サーバアドレス	<input type="text"/>									
デバイスID	<input type="text" value="1"/>									
保存										



### 5-6-4 DDNS

DDNS を設定します。「有効」にチェックを入れ DDNS を有効にします。

#### ➤ DDNS 設定方法

サーバタイプを選択して、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。

《例》 **www.dvrdydns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② 「Registration（登録）」ボタンを押すと、以下の画面になります。  
DDNS アカウント情報（ユーザ名、パスワード）、秘密の質問などを入力後「Submit（送信）」ボタンをクリックしてアカウントを保存します。

**Welcome to DvrDydns**  
Create a user account or choose existing users below to begin.

DDNS account creation.

**NEW USER REGISTRATION**

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/>
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION.	My first phone number. ▼
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	<p>7+9=</p> <p>New Captcha</p> <input type="text"/> <p>Solve the problem above.</p>

Submit Reset

Already have an account? [Click here to logon.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、「Request Domain (ドメインの要求)」をクリックします。

**Domain Name Creation**  
Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

dvrdydns.com ▼ Request Domain

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報をリストに表示します。

**My Domains**  
Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC1234	✓	htc1234.dvrdydns.com

Last Update: Not yet updated IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names [1]

- ⑤ DDNS 設定メニューを開きます。DDNS を有効にして、サーバタイプは dvrdydns を選択します。2 項、3 項で登録したユーザ名、パスワード、ドメイン名を入力して「保存」をクリックします。
- ⑥ ルータの IP アドレスと Http ポートをマッピングします。(UPnP 機能が有効になっているときは、この手順をスキップできます。
- ⑦ IE アドレスバーに <http://www.xxx.dvrdydns.com:81> のような登録済みのドメイン名と http ポートを入力し入力キーを押して IE クライアントに進みます。

## 5-6-5 SNMP

SNMP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
<a href="#">ポート</a> <a href="#">サーバー</a> <a href="#">DDNS</a> <a href="#">SNMP</a> <a href="#">802.1X</a> <a href="#">RTSP</a> <a href="#">UPnP</a> <a href="#">Email</a> <a href="#">FTP</a> <a href="#">HTTPS</a> <a href="#">QoS</a>	
<b>SNMP v1/v2</b>	
<input type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティを読む	<input type="text" value="public"/>
SNMP名称を書く	<input type="text" value="private"/>
トラップ住所	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>
<b>SNMP v3</b>	
<input type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名を読む	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="password" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="password" value="....."/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="password" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="password" value="....."/>
<b>SNMPその他の設定</b>	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

➤ SNMP v1/v2

「SNMPv1 を有効にする」「SNMPv2 を有効にする」にチェックを入れ SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティを読む	public
SNMP名称を書く	private
トラップ住所	192.168.226.201
トラップポート	162
トラップグループ名	public

表示	説明
SNMP コミュニティを読む	読取り専用。 SNMP による読取り専用のコミュニティ名を入力します。
SNMP 名称を書く	書込み専用。 SNMP による書込み専用のコミュニティ名を入力します。
トラップ住所	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。

## ➤ SNMP v3

「SNMPv3 を有効にする」にチェックを入れ SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名を読む	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>

表示	説明
ユーザ名を読む	SNMPv3 による読取り専用のユーザ名を入力します。
ユーザ名を書く	SNMPv3 による書込み専用のユーザ名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザ認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 ・ auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 ・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 ・ no auth, no priv : ユーザ名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

### 5-6-6 802.1X

アクセスコントロールである IEEE802.1X はローカルネットワークに接続されたデバイスを認証によって管理します。「有効」にチェックを入れ 802.1X を有効にします。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
<div> <a href="#">ポート</a> <a href="#">サーバー</a> <a href="#">DDNS</a> <a href="#">SNMP</a> <a href="#">802.1X</a> <a href="#">RTSP</a> <a href="#">UPnP</a> <a href="#">Email</a> <a href="#">FTP</a> <a href="#">HTTPS</a> <a href="#">QoS</a> </div>	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
プロトコルタイプ	<input type="text" value="EAP MD5"/>
EAPOLバージョン	<input type="text" value="1"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワードを認証する	<input type="password"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
プロトコルタイプ	EAP MD5（固定）
EAPOL バージョン	1（固定）
ユーザ名	ユーザ名とパスワードは認証サーバに登録されたものと同じ必要があります。
パスワード	
パスワードを認証する	パスワードと同じものを入力します。

### 5-6-7 RTSP

RTSP を設定します。「有効」にチェックを入れ RTSP を有効にします。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド										
ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効										
ポート	<input type="text" value="554"/>									
アドレス	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>									
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>									
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>									
マルチキャストアドレス										
第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動開始							
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動開始							
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動開始							
オーディオ	<input type="text" value="239.0.0.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動開始							
<input type="checkbox"/> 匿名ログインを許可する（ユーザー名またはパスワードは不要）										
<input type="button" value="保存"/>										

ポート番号は「5-6-2 ポート」メニューの RTSP ポートと連動しています。

RTSP アドレス: VLC プレイヤー等で再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。

#### 【例】RTSP アドレス（ユニキャスト）

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226.201:554/profile1

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226.201:554/profile2

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226.201:554/profile3

マルチキャストアドレスとポート番号を入力します。

「匿名ログインを許可する（ユーザー名またはパスワードは不要）」にチェックを入れると RTSP 認証を省いて再生ができます。チェックを外し、RTSP 認証を有効にした場合はユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

### 5-6-8 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE ブラウザからアクセスできます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド										
ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効										
UPnP名	<input type="text"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ① ルータが UPnP 機能に対応していることを確認します。
- ② ルータの UPnP を有効に設定します。
- ③ ルータに対応する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。「5-6-1 TCP/IP」メニューを参照してください。
- ④ 「有効」にチェックを入れて UPnP を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由ですばやくアクセスすることができます。
- ⑤ UPnP 名を入力します。



## 5-6-9 Email

Email を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート

サーバー

DDNS

SNMP

802.1X

RTSP

UPnP

Email

FTP

HTTPS

QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバーアドレス

安全な接続

不要

SMTPポート

25

デフォルト

☐ 送信間隔(S)

0

(0-3600)

クリア

テスト

受信者

受信者アドレス

追加する

削除

保存

## ➤ 送信者

送信者情報を入力します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
サーバーアドレス	<input type="text"/>
安全な接続	不要 <input type="button" value="▼"/>
SMTPポート	<input type="text" value="25"/> <input type="button" value="デフォルト"/>
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="0"/> (0-3600)
<input type="button" value="クリアー"/> <input type="button" value="テスト"/>	

表示	説明
送信者アドレス	送信者の E メールアドレスを入力します。
ユーザ名	送信者のユーザ名を入力します。
パスワード	送信者のパスワードを入力します。
サーバアドレス	SMTP の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
安全な接続	不要、SSL、TLS から選択します。
SMTP ポート	SMTP ポートを入力します。デフォルトをクリックするとポート番号をデフォルトに戻します。
送信間隔	E メールを送信する間隔を設定します。

## ● テスト

「テスト」をクリックして、E メールに宛先アドレスを入力します。「OK」をクリックすると送信テストを行います。

E-メールアドレスを入力してください <input type="button" value="×"/>	
E メール	<input type="text"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

## ➤ 受信者

受信者のメールアドレスを設定します。

追加するときは受信者アドレスにメールアドレスを入力し、「追加する」をクリックします。

削除するときは、受信者リストから削除するメールアドレスを選択し、「削除」をクリックします。

受信者

受信者アドレス

追加する

削除

保存

## 5-6-10 FTP

FTP サーバを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート

サーバー

DDNS

SNMP

802.1X

RTSP

UPnP

Email

FTP

HTTPS

QoS

サーバー名	サーバーアドレス	ポート	ユーザー名	パス

追加する

変更

削除

テスト

保存

### ➤ FTP 追加

FTP サーバを追加するには「追加する」をクリックします。

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザ名／パスワード	FTP サーバにログインするときのユーザ名とパスワードを入力します。匿名にチェックを入れると、ユーザ名とパスワードの入力を省きます。

### ➤ FTP 変更

FTP サーバの登録内容を変更するときは、一覧の中から FTP サーバを選択し「変更」をクリックします。

### ➤ FTP 削除

FTP サーバを一覧から削除するときは、一覧の中から FTP サーバを選択し「削除」をクリックします。

### ➤ FTP テスト

FTP サーバとの接続確認をするときは、一覧の中から FTP サーバを選択し「テスト」をクリックします。

## 5-6-11 HTTPS

HTTPS を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
ポート	サーバー
DDNS	SNMP
802.1X	RTSP
UPnP	Email
FTP	<b>HTTPS</b>
QoS	
<input type="checkbox"/> 有効	
証明書のインストール	C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftwar <span>削除</span>
属性	発行されました: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 発行者: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 有効期限: 2017-07-26 01:02:07 ~ 2022-07-26 01:02:07
<span>保存</span>	

上記のように初期値で証明書がインストールされています。この証明書を使用するときは「有効」にチェックを入れて保存します。

Web ブラウザから本機にアクセスするときは <https://IP> アドレス : https ポートを入力します。(例 : <https://192.168.226.201:443>)

ユーザが初期の証明書を使用したくないときは、「削除」をクリックして初期値の証明書をキャンセルします。キャンセルすると以下の画面が表示されます。

- 署名された証明書がある場合は、「ブラウズ」をクリックして証明書のファイルを選択してからインストールします。

ポート		サーバー		DDNS		SNMP		802.1X		RTSP		UPnP		Email		FTP		<b>HTTPS</b>		QoS			
<input checked="" type="checkbox"/> 有効																							
インストールタイプ		<input checked="" type="radio"/> 証明書に署名して、直接インストールしてください <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求を作成する																					
証明書をインストールする												<span>ブラウズ</span>		<span>インストール</span>									
<span>保存</span>																							

- プライベート証明書を作成するときは、「プライベート証明書を作成する」にチェックを入れて「作成する」をクリックします。

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP **HTTPS** QoS

☐ 有効

インストールタイプ ☐ 証明書に署名して、直接インストールしてください

☒ プライベート証明書を作成する

☐ 証明書要求を作成する

プライベート証明書を作成する

「作成する」をクリックすると、以下の画面を表示します。

国（2文字のみ使用可能）、ドメイン（カメラのIPアドレス/ドメイン）有効期限、パスワード、都道府県/州、地域などを入力後、「OK」をクリックして保存します。

プライベート証明書を作成する ×

国 \*

ドメイン \*

有効期限 \*  日

パスワード

州/州

領域

組織

単位

Eメール

- 証明書要求を作成するときは、「証明書要求を作成する」にチェックを入れて「作成する」をクリックします。証明書要求を作成後、証明書要求をダウンロードし、信頼できる認証局に送り署名を求めます。署名付き証明書を受け取ったら、証明書をデバイスにインポートします。

### 5-6-12 QoS (Quality of Service)

QoS（サービス品質）機能は、さまざまなネットワークアプリケーションにさまざまなサービス品質を提供するために使用されます。帯域幅が不足していると、ルータまたはスイッチはデータストリームを並べ替え、優先順位に従って転送し、この機能を使用してネットワーク遅延とネットワーク輻輳を解決します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
<a href="#">ポート</a> <a href="#">サーバー</a> <a href="#">DDNS</a> <a href="#">SNMP</a> <a href="#">802.1X</a> <a href="#">RTSP</a> <a href="#">UPnP</a> <a href="#">Email</a> <a href="#">FTP</a> <a href="#">HTTPS</a> <b><a href="#">QoS</a></b>	
ビデオ/オーディオDSCP	<input type="text" value="0"/>
アラームDSCP	<input type="text" value="0"/>
マネージャDSCP	<input type="text" value="0"/>
<input type="button" value="保存"/>	

ビデオ/オーディオ DSCP      : 設定範囲 0～63

アラーム DSCP                 : 設定範囲 0～63

マネージャ DSCP               : 設定範囲 0～63

設定する数値が大きいほど優先順位が高くなります。

## 5-7 セキュリティ

セキュリティを選択すると以下の画面になります。ここでは、ユーザ、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、安全管理、4つのサブメニューがあります。



### 5-7-1 ユーザ

ユーザを設定します。(初期設定では管理者のみ登録されています。)

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ ユーザー				
追加する 変更 削除				
Index	ユーザー名	ユーザータイプ	バインドMAC	
1	admin	管理者		

#### ➤ ユーザ追加

ユーザーを追加する

ユーザー名

パスワード

パスワードを認証する

ユーザータイプ

バインドMAC

管理者

00:00:00:00:00:00

OK

キャンセル



「追加する」をクリックすると「ユーザを追加する」画面を表示します。

- ① ユーザ名 : テキストボックスにユーザ名を入力します。
- ② パスワード : テキストボックスに文字または数字を入力します。
- ③ パスワードを認証する : パスワードに入力したものと同一文字を入力します。
- ④ ユーザタイプ : 管理者、上級ユーザ、ノーマルユーザを選択します。
- ⑤ バインド MAC : 指定した MAC アドレスのみアクセスが可能となります。

## ➤ ユーザ編集

「変更」をクリックすると「ユーザを編集」画面を表示します。パスワードと指定された MAC アドレスを編集できます。

- ① 「パスワードを修正する」にチェックを入れてパスワードを修正します。
- ② 「バインド MAC」にチェックを入れて、MAC アドレスを修正します。

## ➤ ユーザ削除

「削除」をクリックすると、選択しているユーザを削除できます。ただし、初期登録されている admin は削除できません。

## 5-7-2 オンラインユーザ

ライブ映像を表示しているユーザを一覧で表示します。

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ オンラインユーザー					
Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザータイプ	
1	172.20.0.8	32499	admin	管理者	キックアウト

### 5-7-3 ブロックと許可リスト

ブロックリストまたは許可リストを設定します。

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ ブロックと許可リスト

---

**IP / MACアドレスフィルタの設定**

☒ アドレスフィルタリングを有効にする

☒ 次のアドレスをブロックする ☐ 次のアドレスを許可する

追加する

削除

0.0.0.0

☒ IPv4
 ☐ IPv6
 ☐ MAC

保存

#### ➤ IP アドレスフィルタの設定

ブロックリストまたは許可リストを作成するときは「アドレスフィルタリングを有効にする」にチェックを入れます。

- ① 「次のアドレスをブロックする」または「次のアドレスを許可する」を選択します。
- ② IPv4、IPv6、MAC を選択してアドレスを入力します。
- ③ アドレス入力後「追加する」をクリックします。
- ④ 「保存」をクリックしてリストを保存します。

#### ➤ ユーザ削除

- ① 削除したいアドレスをクリックします。
- ② 「削除」をクリックするとアドレス一覧からアドレスが削除されます。

### 5-7-4 安全管理

不正ログイン時、ロックしたいとき、チェックを入れます。初期設定ではチェックが入っています。

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ 安全管理

---

**安全サービス**

☒ 不正ログインすると、ロックされます

保存

## 5-8 メンテナンス

メンテナンスを選択すると以下の画面になります。ここでは、バックアップと復元、リブート、アップグレード、操作ログ、4つのサブメニューがあります。



### 5-8-1 バックアップと復元

本機の設定を復元（インポート）、保存（エクスポート）、初期化の設定をします。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ バックアップと復元

インポート設定

パス

参照...

インポート設定

エクスポート設定

エクスポート設定

デフォルト設定

キープ

☐ ネットワーク設定  
☐ セキュリティ配置  
☐ イメージ配置

工場出荷時の設定に戻す

➤ インポート設定（復元）

「参照」をクリックして、本機のバックアップファイルを選択します。選択後、「インポート設定」をクリックして設定を復元します。



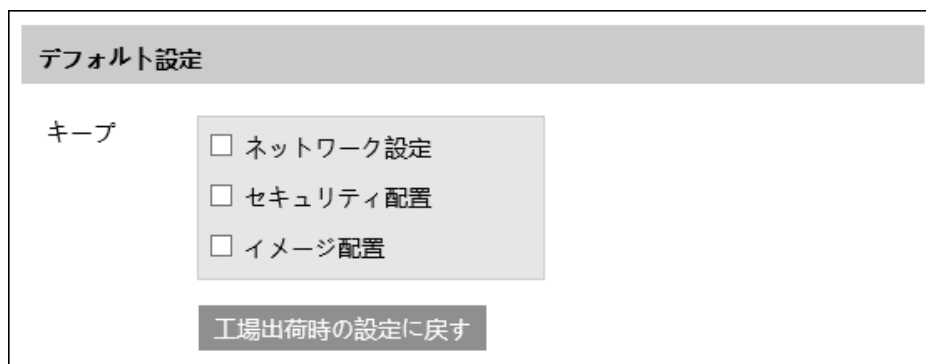
➤ エクスポート設定（保存）

「エクスポート設定」をクリックして、本機の設定を保存します。  
ファイル名：config.txt で保存されます。



➤ デフォルト設定（初期化）

「工場出荷時の設定に戻す」をクリックして、本機の設定を初期化します。  
初期化したくない設定（イメージ、ネットワーク、セキュリティ）がある場合、チェックを入れてから「工場出荷時の設定に戻す」をクリックします。



## 5-8-2 リブート

再起動の設定をします。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ リブート

リブート

リブート

アップデートには1～5分かかります。正常に終了すると、ブラウザは自動的に再接続します。

定時重化設置

☐ 定時設定

保存

### ➤ 再起動（リブート）

「リブート」をクリックすると、確認のポップアップ画面が表示されます。「OK」をクリックすると再起動します。

再起動には 1～5 分かかります。正常に再起動すると自動的に再接続しログイン画面に戻ります。

リブート

リブート

アップデートには1～5分かかります。正常に終了すると、ブラウザは自動的に再接続します。

### ➤ 定時再起動

決められた時間に本機を再起動させたいとき、「定時設定」にチェックを入れます。チェックを入れると以下のメニューを表示します。

毎日決められた時間に再起動、または週に1度決められた時間に再起動を行います。

定時重化設置

☒ 定時設定

週

毎日 ▼

時間

15:07

保存



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

### 5-8-3 アップグレード

本機の F.W.（ファームウェア）をアップデートします。

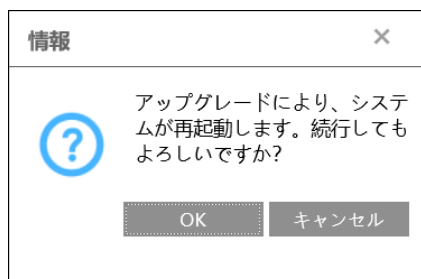
設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード

---

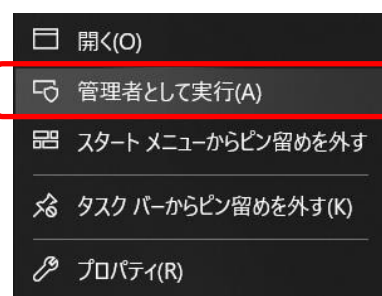
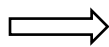
ローカルアップグレード

パス

- ① 「ブラウズ」をクリックしてアップグレードファイルを選択します。
- ② 「アップグレード」をクリックしてアップグレードを開始します。



Internet Explorer は「管理者として実行」しないと、アップグレードファイルが保存されているフォルダを選択してもアップグレードファイルが表示されないことがあります。Internet Explorer を「管理者として実行」するには Internet Explorer のアイコンを右クリックして「管理者として実行」を選択してください。



#### 5-8-4 操作ログ

アラームログや操作ログを表示することができます。

「検索」をクリックしてログを表示します。表示させたいログをメインタイプとサブタイプと時間で指定して「検索」をクリックすると該当するログのみ表示します。

「エクスポート」をクリックすると、ログをテキストファイルで保存することができます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ					
メインタイプ	すべてのログ ▼		サブタイプ	すべてのログ ▼	
開始時間	2020-07-07 00:00:00		終了時間	2020-07-07 23:59:59	
			検索	エクスポート	
Index	時間	メインタイプ	サブタイプ	ユーザー名	ログインIP
1	2020-07-07 02:36:59	操作	ログアウト	admin	172.20.0.8
2	2020-07-07 02:36:32	操作	ログイン	admin	172.20.0.8
3	2020-07-07 02:36:31	操作	ビデオ設定変更		
4	2020-07-07 02:36:34	操作	ログイン	admin	172.20.0.8
5	2020-07-07 02:36:31	情報	システム起動		
6	2020-07-07 02:35:51	操作	ログアウト	admin	172.20.0.8
7	2020-07-07 02:35:51	操作	ログイン	admin	172.20.0.8
8	2020-07-07 02:35:49	操作	ログイン	admin	172.20.0.8
9	2020-07-07 02:35:46	操作	インポート設定		
10	2020-07-07 02:35:46	操作	ネット設定変更		
11	2020-07-07 01:40:56	操作	ログイン	admin	172.20.0.8
<div> <span>◀</span> <span>▶</span> <span>1</span> / 1           <span>◀</span> <span>▶</span> <span>20</span> View 1 - 11 of 11 </div>					

## 6. 検索

右上の”検索”タブをクリックすると検索画面を表示します。ローカル設定で設定した”スナップショット”と”動画”、SDカードに保存されている”スナップショット”と”動画”を検索再生することができます。



※IE(Internet Explorer)ブラウザは必ず管理者として起動して操作して下さい。  
管理者権限の起動方法は「5-8-3 アップグレード」を参照してください。

### 6-1 写真検索（スナップショット保存された画像の検索）


- ① 写真（スナップショット）を選択します。
- ② ローカルまたはSDカードを選択します。
- ③ 検索したい日付を設定します。
- ④ 検索時間の開始時間と終了時間を設定します。虫眼鏡アイコンをクリックして、画像ファイルを検索します。

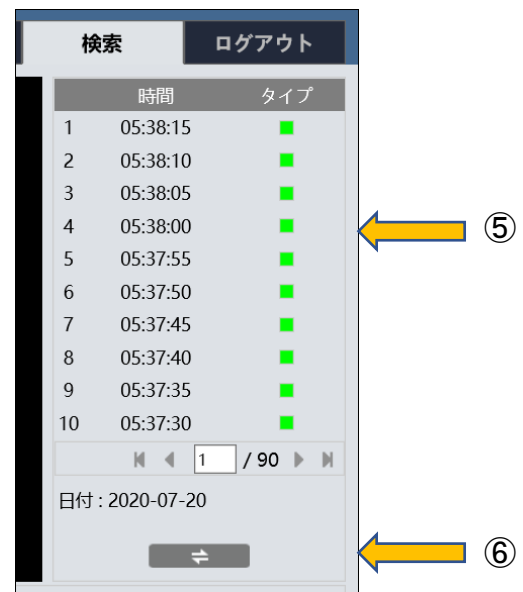


※カレンダーが赤色になっている日付には、画像データがあります。





- ⑤ 検索すると、右のようにリスト表示します。  
リストの中で再生したい時間をダブルクリックするとリストの左側のウィンドウに静止画を表示します。
- ⑥  をクリックするとカレンダー表示に戻ります。



時間表示の右側に色付きのアイコンは以下の意味を持ちます。チェックを外すと該当するアイコンは表示されなくなります。

☒ すべて選択 ☒  センサー ☒  イベント ☒  動き検出 ☒  通常

## 写真検索画面のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		ズームイン
	すべての画像を閉じる		ズームアウト
	現在の画像を PC に保存		スライドショー再生
	すべての画像を PC に保存		スライドショー停止
	画面サイズに画像を調節		スライドショーの再生速度
	実際の画像サイズに変更		


## 6-2 録画検索

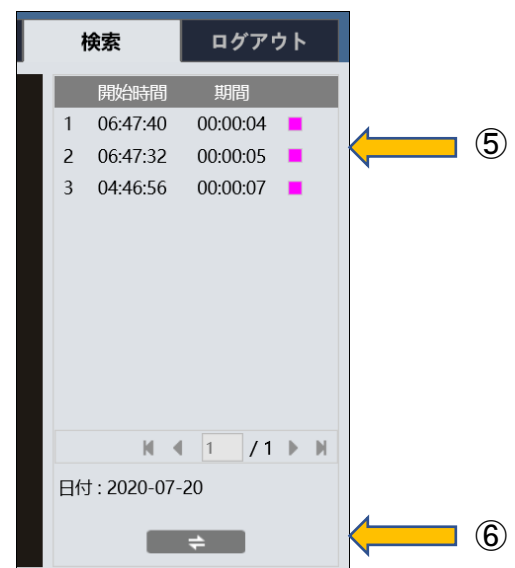
- ① 録画を選択します。
- ② ローカルまたは SD カードを選択します。
- ③ 検索したい日付を設定します。
- ④ 検索時間の開始時間と終了時間を設定します。虫眼鏡アイコンをクリックして、画像ファイルを検索します。



※カレンダーが赤色になっている日付には、画像データがあります。



- ⑤ 検索すると、右のようにリスト表示します。リストの中で再生したい時間をダブルクリックするとリストの左側のウィンドウに再生を開始します。
- ⑥  をクリックするとカレンダー表示に戻ります。
- ⑦ 再生画面をダブルクリックするとフルスクリーンモードで表示します。フルスクリーンモードを終了するときは画面上でダブルクリックするか、キーボードの ESC キーを押します。



### 録画検索画面のアイコン


アイコン	説明	アイコン	説明
	再生ボタン		ウォーターマークの有効/無効
	一時停止ボタン		前の録画ファイルへ
	停止ボタン		次の録画ファイルへ
	再生速度スピードダウン		録画ファイルを PC に保存
	再生速度スピードアップ		音声の有効/無効※1

※1 有効の場合、音量調節ができます。(0～100)

### 6-3 録画映像バックアップ

- ① 録画検索と同じ操作で右のように録画ファイルのリストを表示します。
- ② 2種類のバックアップができます。
  - 1: 選択したファイルの時間を全部バックアップ
  - 2: 時間を指定してバックアップ

➤ 選択したファイルの時間を全部バックアップ

- ③ リストの右端にある  をクリックするとすぐに以下の画面を表示してバックアップを開始します。(この操作は時間指定できないため選択した1つのファイルを全部バックアップします。)






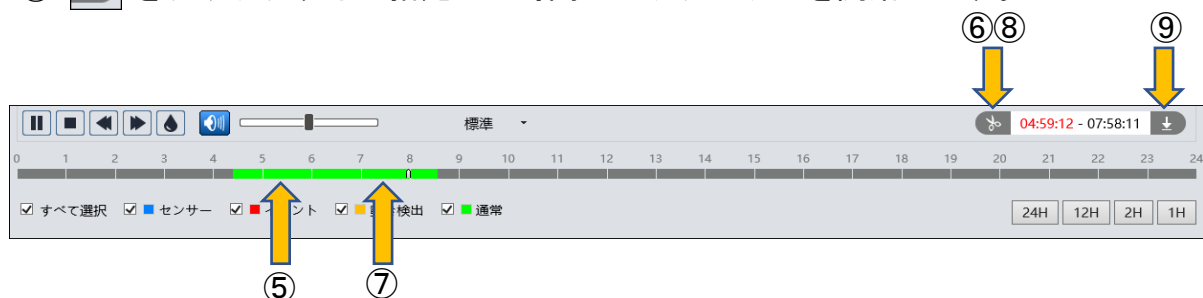
#### バックアップの進捗表示



#### バックアップ先のフォルダ名

➤ 時間を指定してバックアップ

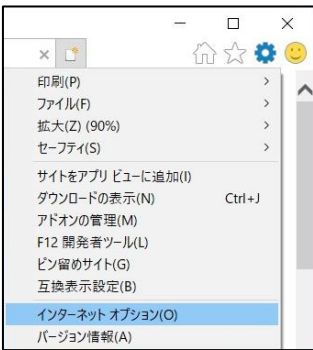
- ④ バックアップしたいファイルをダブルクリックして再生を始めます。
- ⑤ バックアップの開始時間⑤のところをクリックします。縦線を確認します。
- ⑥  ハサミのアイコンをクリックします。左側に時間が入ったことを確認します。
- ⑦ バックアップの終了時間⑦のところをクリックします。縦線を確認します。
- ⑧  ハサミのアイコンをクリックします。右側に時間が入ったことを確認します。
- ⑨  をクリックすると指定した時間のバックアップを開始します。



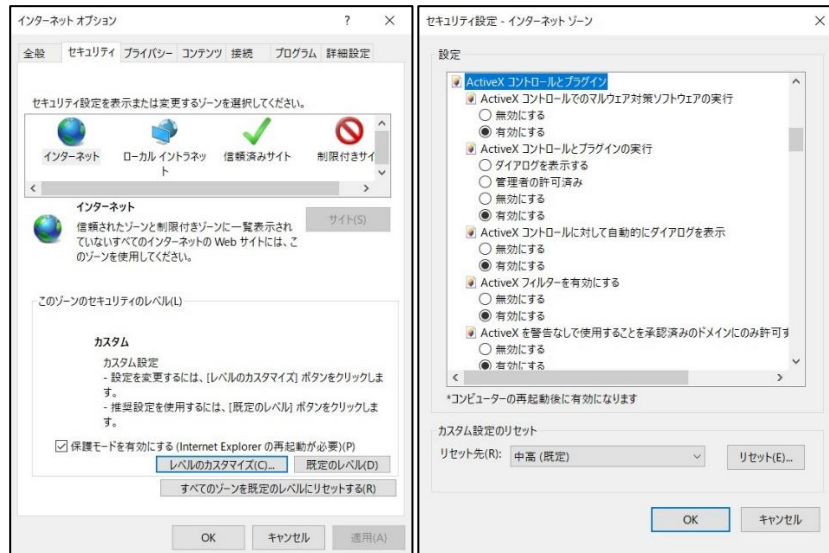
## 7. 製品仕様

項目	定格	
型名	HIE-S148P4-L2A	
圧縮方式	H. 265、H. 264、MJPEG	
タイプ	エンコーダ	
画像サイズ	第1ストリーム	2560X1440/2304X1296/2048X1536/1920x1080/1280X960/1280x720
	第2ストリーム	704x480/352x240
	第3ストリーム	704X480/480X240/352X240
フレームレート	1～30fps	
ビットレート	CBR/VBR（ビットレート可変範囲：64kbps～16Mbps）	
プロトコル	TCP/IP、UDP、DHCP、PPPoE、NTP、DDNS、SNMP、RTSP、FTP	
インタフェース規格	ONVIF（PROFILE S、PROFILE G）	
同時アクセス数	6	
その他の機能	モーション検知、タイトル表示、ROI、UPnP、メール送信	
映像	入力	BNCx1：HD-TVI/AHD/CVBS 1.0Vp-p（NTSC/PAL）
	出力	BNCx1：アクティブスルー出力
音声	入力	1系統（Line）
	出力	1系統（Line）
アラーム	入力	1系統
	出力	1系統
RS485	1系統	
SD カードスロット	Micro SD/SDHC/SDXC（最大 128GB）	
イーサネット	1系統（10M/100M BASE-TX（RJ-45））	
DC 出力	1系統（+12V（最大 700mA））	
電源	DC12V（±10%）/PoE	
消費電力（最大）	12W（DC12V/900mA）	
動作環境	温度	-20℃～+60℃
	湿度	90%以下（結露なきこと）
外径寸法	(W) 74.5mmx (H) 29mmx (D) 136mm（取付け金具部含む）（幅 x 高さ x 奥行） (W) 74.5mmx (H) 29mmx (D) 101mm（取付け金具含まない）	
重量	220g	

## 8. Q&amp;A

質問	回答
パスワードを忘れたときの対処方法は？	リセットボタンを 5 秒間長押ししてデバイスを出荷時の状態に戻します。 出荷時設定 IP アドレス : 192. 168. 226. 201 ユーザ名 : admin パスワード : 123456
IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない	回答 1 ネットワークが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続されていることを確認してください。
	回答 2 有効な IP アドレスが設定されていない可能性があります。有効な IP アドレスを設定してください。
	回答 3 WEB ポート番号が改定された可能性があります。管理者に確認して正しいポート番号で再度接続を試みてください。
	回答 4 回答 1～3 以外の場合、IP-Tool で初期 IP に戻してください。 IP アドレス : 192. 168. 226. 201 サブネットマスク : 255. 255. 255. 0 ゲートウェイ : 192. 168. 226. 1 WEB ポート : 80
IP-Tool でデバイスを見つけられない	コンピュータのウィルス対策ソフトウェアが原因の場合があります。ウィルス対策ソフトウェアを終了して、再度デバイス検索してください。
IE が ActiveX コントロールをダウンロードできません。どうしたらよいですか？	<p>回答 1 IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のよう に試してください。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>① IE ブラウザを開きます。右上のツール →インターネットオプションをクリックします。</p> </div> </div>

- ② “セキュリティ” タブの「レベルのカスタマイズ」を選択します。  
 (左図) 「ActiveX コントロールとプラグイン」の下にある、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ③ 「OK」をクリックして、設定を終了します。

## 回答 2

他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

ActiveX コントロールのインストールに失敗しました。

## 回答

IE ブラウザを閉じて再度インストールを試みてください。

録画した画像やビデオが検索できない。

IE (Internet Explorer) ブラウザは管理者モードで実行している必要があります。

管理者モードで実行するには、IE ブラウザのアイコンを右クリックすると“管理者として実行”が表示されるので、“管理者として実行”をクリックして起動してください。IE ブラウザを管理者モードで起動後、本機にアクセスしてください。

管理者モードの起動方法は「5-8-3 アップグレード」も参照してください。

## 9. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間:

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間:

＜＜本体＞＞ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。  
（修理できない場合もあります）
  - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
  - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
  - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマーサポート

TEL 0570-060030

E-mail [support@hytec.co.jp](mailto:support@hytec.co.jp)

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日、年末年始除く）